

みなさん、こんにちは！

毎日どう過ごしていますか？

もちろん勉強をたくさんしてほしいですが、おうちの中で出来る範囲の息抜きをして、
ストレスをためないように過ごしましょう！

では、今週の課題です。

高校2年生

【現代文】全クラスの課題

①『カラー版 新国語便覧』の関連動画を視聴する。

広島と長崎（便覧対応ページ p.203）	ここをクリック
ラジオ放送始まる（便覧対応ページ p.206）	ここをクリック
戦時下の生活（便覧対応ページ p.210）	ここをクリック
疎開先での生活（便覧対応ページ p.210）	ここをクリック
働く子どもたち（便覧対応ページ p.210）	ここをクリック
東京大空襲（便覧対応ページ p.211）	ここをクリック
防空壕（便覧対応ページ p.211）	ここをクリック

【古典】文系クラス（特進文系・一般文系・外国語コース）

①『カラー版 新国語便覧』の関連動画を視聴する。

広島と長崎（便覧対応ページ p.203）
ラジオ放送始まる（便覧対応ページ p.206）
戦時下の生活（便覧対応ページ p.210）
疎開先での生活（便覧対応ページ p.210）
働く子どもたち（便覧対応ページ p.210）
東京大空襲（便覧対応ページ p.211）
防空壕（便覧対応ページ p.211）

★先生たち おすすめの短編



「青空文庫」で読める短編を紹介します。ぜひ読んでみて！



小泉八雲 『耳なし芳一』

源平の合戦の最後の戦いとなった「壇ノ浦の戦い」。安徳天皇が幼くして海に沈んでいったいくさです。合戦場となった壇ノ浦を下関側から見下ろす小高い丘に「赤間神宮」という真っ赤な美しい神社があり、安徳天皇をお祀りしています。まだ子どもだった安徳天皇の魂をいやすために竜宮城に見立てた、それはそれは美しい神社。その傍らに小さな祠があります。その祠こそ、「平家物語」を語って歩いた琵琶法師の一人、「耳なし芳一」とよばれるその人の祠です。私たち現代人は字を読むことを小さなころから教えられて、誰でもが自分で物語を読むことができます。ですが、古代、中世の人々は誰かが読んでくれるお話の世界が全てだったので。琵琶を弾きながら歌かたりする法師の「平家物語」に人々はどんなに魅了され、待ち望んだことでしょうか。そんな語り手芳一は目が見えませんでした。ある夜、武士に連れられあるお屋敷に招かれます…。作者は小泉八雲。本名はラフカディオ・ハーン。高1、高2のみなさんは今後の修学旅行でハーンのゆかりの地に行くかもしれません！さて、どこでしょうか…。お楽しみに！

『耳なし芳一』 https://www.aozora.gr.jp/cards/000258/files/42927_15424.html



芥川 龍之介 『英雄の器』

司馬遼太郎の『劉邦と項羽』という作品があるように、中国の戦国時代を戦った人物の中でとても重要な二人。少しだけ簡単な予備知識を教えますと……秦の始皇帝亡き後、覇権争いが勃発していました。そのなかでも最後に残った2強というのが楚・項羽と漢・劉邦！そんなライバル同士の長きにわたる戦いの結末は、項羽の自害。この作品は、決着のその後、項羽を討ち取ったその夜の宴での一幕を描いたものです。

この話の最後は、「だから、英雄の器だったのさ。」と劉邦が項羽のことを言ったこのセリフ。どのような思いでこの一言を言ったのか。戦いに勝った喜びよりも、ライバルを失った物悲しさや切なさを感じる作品。

「英雄の器」とはどのようなことをいうのか。みなさんも考えてみてください！

『英雄の器』 https://www.aozora.gr.jp/cards/000879/files/35_15166.html



三島 由紀夫 『美神』

あなたは何を見て「美しい」と思いますか？

校庭の桜や黄金色の銀杏、居残り補習を終えた教室の窓から見た夜景、そして大好きなあの子の横顔…。

この世には美しいものがたくさんあります。

ということで、今回のテーマは「美」。

三島由紀夫は唯美主義作家ともいわれます。代表作『金閣寺』『潮騒』などを読んだ人もいるかもしれません。

唯美主義 ——この世で最も価値のあるものは「美」である——

美神の虜^{とりこ}となった博士のとった行動は…。 衝撃のラスト、あなたはどう解釈しますか？

三島由紀夫『美神』 <https://tokorozawa-h.spec.ed.jp/wysiwyg/file/download/86/651>

(注) 青空文庫ではないですが、このサイトで読めます。

『美神』を楽しめた人は、短編ではありませんが、三島由紀夫の『女神』もおすすめです。自分の娘を完璧な女神に創り上げようとする男の執念がこわい…💡でも、引き込まれる作品です。



宮沢 賢治 『銀河鉄道の夜』

「幸せ」ってなんだろう？おいしいお寿司をたくさん食べること？徹夜明けに思いっきり寝ること？大好きなあの子と一緒に過ごす時間？「幸せ」とは人それぞれ。きっとそれは人の数だけ答えがあるはず。どこか懐かしさを感じる風景で、あっという間に包み込み、気づけば、ジョバンニとカンパネルラと一緒に、あなたは銀河鉄道に乗り込んでいます。『銀河鉄道の夜』が50年もの長い間たくさんの人に愛されている作品なのは、この物語を読むことで「自分の本当の幸せ」を見つめなおすきっかけになるから、なのかもしれません。あなたの「本当の幸せ」はなんですか？

宮沢賢治『銀河鉄道の夜』 https://www.aozora.gr.jp/cards/000081/files/456_15050.html